



メディケア別府 通所リハビリ テーション

平成 25 年 9 月 5 日

ロボットスーツ『HAL』の紹介

近頃、新聞やテレビなどで医療や介護・福祉現場で活躍するロボットの紹介を見た方もいると思います。介護する人を助けるロボットや、心身を癒すロボットなどがありますが、当施設では歩行を助けるロボット『HAL』を導入し歩く練習に使用しています。下肢に障がいのある方々や筋力が弱くなった方々の筋力の変わりとなり下肢動作や歩行を手伝うロボットです。

人が動こうとした時、脳から筋肉に神経の信号が伝わります。その際、皮膚表面に現れる電位信号を装着者の皮膚に張り付けたセンサーで感知しコンピューターにより信号を解析し、その信号に応じて『HAL』が動きます。

少し話しが難しくなりましたが、装着者の意思に従って動作を助けてくれるロボットなのです。

それでは、実際にメディケア別府で『HAL』を使用した方について紹介します。

一人目の方は 60 代男性。以前は家の中・施設の中を車いすで生活していたのですが、5 か月ほど『HAL』を使って歩く練習をしたところ家の中では杖を使って歩けるようになり、施設内も短い距離は杖で歩けるようになりました。

二人目の方は 70 代男性。『HAL』を使い始めて 8 か月後、連続で歩ける距離が伸び、歩くスピードも速くなりました。

現在、女性を含め数名が『HAL』を使って歩く練習を頑張っています。みなさん劇的な変化はありませんが、確実に少しずつ変化が見られています。

もし、興味を持って頂けた方がいましたらご連絡お待ちしております。



仁泉会 夏祭り



8月8日に畑病院の盆踊りがおこなわれました。職員、入院や入所の方々、ご家族や地域の皆様のご協力があり、多くの人々が集う賑やかな夏の夜となりました。

通所リハビリの利用者様の中にも日頃のリハビリの成果を活かして自宅から歩いて会場に来られるかたやご家族の方と一緒に盆踊りの見学に来られた方がいました。

リハビリテーションの実施により、身体機能や体力の向上が図れることで、その方の生

活の幅も広がっていきます。地域活動への参加や人とのふれあいの機会が増えることで日々の生活に楽しみや生きがいをもって過ごせるようになった利用者様がたくさんいらっしゃいます。

たくさんの方々の生活がもっと輝くよう、今後もお手伝いさせて頂きたいと思っています。



たくさんの踊り子さんたち



楽しい夏の夜でした

